

現計画

基本理念

みんなで創ろう だれもが 心豊かに暮らせる
福祉の都市（まち）『にいがた』

- ・市民、地域の団体、行政機関を含む「みんな」の力で創造
- ・現在の新潟市民も、未来の新潟市民も、年齢や、障がいの有無に関わらず「だれも」が対象
- ・安心して「心豊かに暮らせる」ような価値を持った
- ・目指す姿として「まち」「にいがた」と記載し、よらかさ、オリジナリティを表現

基本目標

- 1 私たちが支えあい、助け合う地域づくり
 - ・市民が主体となって「支えあい」「助け合い」に取り組む地域を作る
- 2 安心・安全に暮らせる地域づくり
 - ・市民・地域・行政・関係機関が連携し「安心・安全」に取り組む地域を作る
- 3 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり
 - ・医療や介護になるべく頼らず「いきいきと」暮らせる理想に向けて取り組む地域を作る
- 4 みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり
 - ・必要な時に「情報を共有」し、困ったときに相談できるよう「ネットワーク」を構成する人材・組織を作る

※地域福祉計画(本冊)12、13 ページ参照

現計画の課題

- 地域課題や複雑化・多様化するニーズの把握
- 地域における連携強化・ネットワークの拡大
- 孤立している人、サービスを利用できない人への対応
- 地域の福祉人材の確保・育成

新たに加える視点・考え方

- 「地域共生社会」の実現
- 生活困窮者自立支援の視点
- 成年後見制度の利用促進の視点
- 再犯防止の視点
- ・ 多様性を尊重し、国籍、性別、年齢、障がいの有無など個人の属性により差別されず、誰もが地域の一員として包摂される社会
→「ONE TEAM」
- ・ 本人を中心とし、本人の意思決定を支援・尊重
- ・ 「支え手」「受け手」といった関係を超え、お互いの個性や能力を活かす新たな取り組み
- ・ 高齢者、こども、障がいなど制度の縦割りを超え「我が事」「丸ごと」受け止め、横の連携・つながりを大切に、チームで役割を分担して支援する体制をつくる
- ・ 生涯現役・健康でより長く活躍できる社会

次期計画

基本理念(案)

みんなで創ろう だれもがつながり支えあい
自分らしくいきいきと暮らせる
福祉の都市（まち）『にいがた』

現計画の理念を踏襲しながら、引き続き取り組むため、さらに地域共生社会の実現を目指し、「つながり」「支えあい」やネットワークを強化する視点、お互いの個性や多様性が尊重されるという視点を強調するために加えたもの。

基本目標(案)

- 1 認めあい、支えあう意識を持った地域づくり
 - ・地域で困りごとのある人に気づく、見つける
 - ・お互いを認め尊重する、新たな気づきや意識の醸成
- 2 つながり協働する地域づくり
 - ・気づいた困りごとのある人を支援機関につなぐ
 - ・関係者・機関で情報共有し、連携・協働して支援する
 - ・ネットワークの拡大が新たな気づきや資源の創造へ
- 3 だれもが活躍できる地域づくり
 - ・多様な主体が連携し、だれもがそれぞれの個性や強みを生かして地域の一員として活躍する
- 4 健康で安心・安全に暮らせる地域づくり
 - ・気づき、つながり、活躍を続けるための土台として、地域住民が健康に生活できること、安心・安全な地域を作ることが不可欠